

マネジメントシステム

環境マネジメントシステム

ISO14001 に基づいたマネジメントシステムの運用を進めています。

環境経営をグループ全体で効率的に推進していくために、ISO14001 に基づいたマネジメントシステムを運用しており、全世界の生産拠点での ISO14001 認証取得を基本方針としています。

コニカミノルタグループでは、製品ライフサイクルを通じてグリーンプロダクツ活動、グリーンファクトリー活動、グリーンマーケティング活動に取り組んでいます。またこれらの活動において事業課題と環境課題の解決を目標に設定し、環境と本業を一体化した活動を進めています。この考え方は ISO14001 : 2015 年版と合致しています。

環境活動をグループ全体で効率的に進めるため、日本ではグループ会社を統合した認証登録をしており、ISO14001 : 2015 年版の認証登録も 2016 年度に完了しています。海外拠点についても環境と本業を一体化した活動の考え方をもとに、2015 年版で活動を開始しており、順次認証登録を進めています。

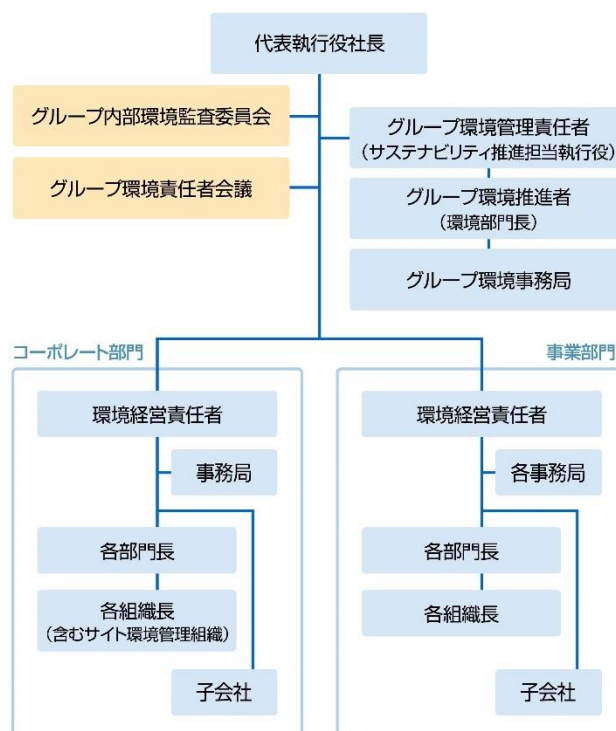
推進体制

「代表執行役社長」が、環境マネジメント全体を統括しています。

コニカミノルタでは、代表執行役社長が環境マネジメント全体についての最高責任と権限を有し、環境マネジメントの有効性について説明責任を担っています。代表執行役社長のもと、取締役会で任命されたサステナビリティ推進担当執行役（グループ環境管理責任者）が環境マネジメントを推進しています。サステナビリティ推進担当執行役は、環境マネジメントにおける進捗状況や課題について、定期的に監査委員会に報告しています。

また、グループ全体の環境目標実施計画を推進する機関として、環境部門長が主催する「グループ環境責任者会議」を設置しています。同会議は、各事業部門の環境経営責任者が参加し、グループ中期環境計画、年度目標実施計画の審議を行います。

また、四半期ごとの進捗状況の確認やグループの環境課題に関する検討を行います。



■ グループ環境マネジメント体制

環境監査

グループの内部環境監査は、経営監査室が主導する「グループ内部環境監査委員会」が、内部環境監査全般にわたる指揮命令を担って実施しています。

年に1回以上実施している内部環境監査で、マネジメントシステムの適合性・有効性を確認するほか、中期環境計画の推進状況などを確認することで、グループの全ての組織においてマネジメントシステムが有効に機能していることを確実なものとしています。

環境リスクマネジメント

コニカミノルタでは、環境リスクを経営リスクの一つと位置付け、取締役会で任命されたリスクマネジメント担当執行役を委員長とする、リスクマネジメント委員会のもとで管理を行い、リスクが顕在化することを未然に防止しています。

また、各地の生産拠点・販売会社がしかるべき環境法規に適切に対応できるよう、欧州・北米・中国・日本の環境組織を中核とした管理体制を構築しています。これらの体制のもと、関連する法規制への対応（各国の化学物質規制、製品含有規制、回収リサイクル規制、省エネルギー規制など）を行っています。

環境順法体制

地球温暖化や資源エネルギー問題をはじめ、地球環境問題の広域化・グローバル化が進む中、持続可能な成長を目指して各地域、各国レベルでの政策・規制の見直し・強化が進んでいます。

ワールドワイドに事業を展開しているコニカミノルタでは、生産、販売の各拠点において環境法規制が確実に順守されるよう、グローバル順法管理体制を強化しています。

2017年度も、すべてのグループ生産拠点を対象に順法診断を実施するとともに、販売拠点についても新たな規制や法改正に対する順法状況を確認しましたが、環境関連法規制などに関する重大な違反はありませんでした。

社会からの評価・表彰

コニカミノルタは、さまざまな団体、企業、国際的な ESG 調査・格付け機関から、環境側面での取り組みに対して高い評価を得ています。

[> 社外からの評価サイトへ](#)

<https://www.konicaminolta.jp/about/csr/csr/vision/evaluation.html>